会合

令和８年度インド向け受入れ研修を実施しました

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンターは、資源エネルギー庁の委託を受けて、令和８年度のインド共和国に対する省エネ人材育成事業「ＺＥＢ（ゼロエネルギービル）推進普及支援プログラム」の一環として、令和８年１０月２６～３０日の５日間で同国中央及び地方政府の省エネ政策関係者を対象に受入れ研修を実施しました。



集合写真



Low-eガラスデモンストレーションの様子

インドでは近年、ビルにおけるエネルギー消費が急速に増大しており、その抑制が大きな課題の一つになっています。欧米の支援を受けて、ビル省エネ設計基準（Energy Conservation and Sustainable Building Code）やビルの省エネラベリング制度（Shunya Label）等、制度的には整ってきているものの、世界的潮流であるＺＥＢを力強く推進するためには更なる方策が求められていました。そこで、日本の建築物省エネ法を中心としたＺＥＢ推進政策や優秀事例をベースに、インドにおけるＺＥＢ推進支援の日印協力プログラムが３年計画で開始されました。今回、初年度プログラムのイベントの一つとして、訪日受入研修を実施したものです。インド中央政府からBEEの政策担当者１名と州政府からSDAの関係者３名の計４名が参加し、５日間に渡るワークショップでは建築物省エネ法・省エネ政策に関する講義、ビルのエネルギー消費量評価プログラム（WEBPRO/Builelib）によるモデルビルのＺＥＢ化検討、２件のZEB Readyビルの訪問、ガラス・空調メーカー等民間企業との情報交換等が行われ、インドからの参加者はＺＥＢ推進政策に関連する知見を深めることができ、今後の政策推進に役立てることを決意して帰国しました。

＊ZEB：Zero Energy Building

＊BEE：Bureau of Energy Efficiency(エネルギー効率局)、Ministry of Power（電力省）の監督のもとで省エネルギー政策を立案・実施する中央政府機関

＊SDA: State Designated Agency、BEEの指令のもとで28の州および8つの連邦直轄領の省エネルギー政策を実施する地方行政機関